

地域学校協働活動
ボランティアだより
第23号



内間小学校 総合的な学習「内間の宝を見つけよう」

連日30度超えの猛暑も一段落の今日この頃ですが、学校や地域では運動会練習や敬老会など暑さをものともせず秋の行事が執り行われました。

今回は、内間小学校の総合的な学習「内間の宝を見つけよう」での地域と学校の連携・協働の取り組みをご紹介します。

内間小学校 総合的な学習 伝統芸能体験活動の取り組み（令和7年9月取材）

内間小学校では、3年生の総合的な学習「内間の宝を見つけよう」で伝統芸能の体験活動を行い、活動成果を運動会で披露する取り組みを行っています。

内間獅子舞棒術保存会の東江尚治（あがりえしょうじ）さん、宮里栄助（みやざとえいすけ）さんをはじめとする指導者の皆様からは、内間地域の伝統芸能「獅子舞」「棒術」を教えてもらい、小林美奈子（こばやしみなこ）さんからは、「空手」を教えてもらっています。

内間自治会の安里会長の講話を通して、5月のこいのぼり祭り、旧暦8月15日の十五夜祭から運動会での獅子舞・棒術・空手披露と1年を通して地域の伝統を学んでいます。（次ページへ）



▲地域の指導者のお手本を見ながら棒術を練習

▼グループに分かれ空手を練習する児童たち



獅子舞・棒術・空手は型を覚えるところから始まります。

最初は「難しい、覚えきれない」と言っていた子もいましたが、3回、4回と練習を積むうちに「おもしろい！」に変わっていき、棒術の指導に携わっている東江理美子さんも「覚えが早い、吸収力が良い」と喜んでいきます。5年生になった子が3年生の時に覚えた棒術の型を披露してくれたこともあり嬉しかったと話していました。

9月中旬から練習が始まり10月の運動会本番までの間に、休み時間や放課後を利用して練習を積み重ね頑張っています。覚えた子が他の子に教えることもあるそうです。

東江さんは内間小学校の子どもたちは3年生になると地域について学ぶなかで「伝統に触れることができ、芸能を体験できる」と話しており貴重な体験であると思いました。

地域と学校が一つになって地域の伝統や行事を学んでいく取り組みは、子どもたちに地域に対する誇りや愛着の心を育むことを感じました。

運動会では、お父さんやお母さん、地域の方々の前でしっかりと成果を発表し盛大な拍手をいただいていた。



▲地域の指導者のお手本を見る児童たち



▲運動会で棒術を発表している様子



▲獅子舞の実演練習

【お問合せ先】

浦添市教育委員会 社会教育推進課 社会教育協働係
電話:098-876-1305(直通) メール:soedu@city.urasoe.lg.jp

ボランティア活動にご興味のある方は
ぜひ社会教育推進課までご連絡ください!